

矢野續著述

愛媛略史字引全一冊

明治十三年  
一月出版

文祥堂藏版

特32  
769

愛媛略史字引

緒言

方今奎運隆盛操觚士奮起執管徒爭  
馳鉛槧之業日進月將於是乎鳥跡蟹  
行之書其麗不億然而至國史類則雖  
非無其書僅々猶曉星焉余承乏學校  
教師常憾課目中欠縣史也久矣一日  
書肆共耕社主袖愛媛略史來示余々

受而讀之寥寥紙上網羅古今使人一目瞭然真可謂簡且易矣而其地稱人名熟字成句有差不易解者社主乞余抄出之施音訓以便初學抑此書之出不啻足以償余之前日憾初學之幸福亦莫大焉則喜而應其乞云爾

明治十二年十月

南鵬矢野績識

凡例

一此書ハ固ト初學ノ了シ易カラシ  
一ヲ欲シ致メテ俚言鄙語ヲ取リ  
世俗ノ慣稱スル所ニ隨ヘハ字音  
ノ不正訛解ノ不安ナルモノ亦頗  
ル多シ世ノ君子幸ニ喙ヲ容ル、  
勿レ  
一州郡山川等ノ地處ニ管スル部ハ

○ノ印ヲ付シ官職氏名ノ人事ニ  
 係ル所ハ△ノ印ヲ施ス且ツ原書  
 字句ノ見出シ易カラシムヲ欲シ  
 三葉毎ニ一蒐ス故ニ幾葉ヨリ幾  
 葉ニ至ルト書シ以テ索覽ニ便ス

愛媛略史字引

矢野 績著述

○二名島

四國ノ古稱

○愛媛

伊豫ノ古名

蕃息

マシフエルヲ云フ

鴻荒

ヒラケヌトキヲ指シテ云フ

事跡

アトカク

稽

△景行天皇

ケイカウ

大足彦忍代別

△速後上命

因幡國造ノ向祖 敷村彦命ノ子ナリ

國造

クニミヤツコ

武國凝別皇子

御村別祖

△十城別王

別王等ノ祖也

△國乳別命

宇和別祖

△八坂入姫命

伴

△仲哀天皇

足仲彦尊

○筑紫ノ熊襲

航路 フネノミチ 經 ヘテ △應神天皇 譽田別 △乎

致命 物部氏ノ祖大新川命ノ孫 △越智國造 △阿佐利 連物部

祖伊香色男命四世ノ孫 △風速國造 △允恭天皇 雄朝津間稚子宿禰

尊 △輕大娘皇女 △木梨輕太子 暴

塵 ダシ △穴穗皇子 康安 △物部

大前宿禰 匿 レカク 密 カヒソ △顯宗天皇 計弘

△來目部小楯山官 カサ △山部連 △清

寧天皇 △市邊押磐皇子 △雄略天皇

大御瀬 遺孤 ミナレゴ △億計 仁賢 △弘計 宗顯 △

赤石郡縮見屯倉首忍海部造細目

奴 シモベ 牧 カヒヤ 宴 モリ 深 ケフ 酣 ケケタ 更 ルカハ

乘 リ 恭敬 ウヤイシク 歌詞 タウ 托 コト 暗 ラモハ 系

統 ツケイ 以 マラシ 歸老 カヘリテイ 喚 ゴ ○播磨

塚 ツケ 基 スキ △推古天皇 部親田 △厩戸太子 聖德 行

啓 キ △葛城臣 ○高麗 △惠聰 僧名 ○伊

佐庭岡碑 フミヲカケル 勒 カキト △舒明天皇

樸樹 ノキ 桑鷹 ルガ 鵲 メシ 鴉 メシ 稻穗 ボ 繫 カケ

飼 ヒカ △ 孝德天皇 △ 大山上安倍小殿

朱砂 シヤ △ 齊明天皇 皇極帝 再作号 △ 中大兄

天智 △ 皇子大海人 武天 ○ 熟田津石湯 道後 温

泉 ○ 磐瀨 長津 更 アラ 喪 モ佛事ノ 行宮 カリ △

文武天皇 震 フルア地 壅 イヨウ 崩 レク 溢 アフル水ノ

フイ 毀壞 クワイ 人畜 ヒトノチウ 頃 一町ヲ云 陥没 オチ △

持統天皇 △ 田中法磨呂 ○ 御馬山 宇和 郡中

ニ 在 鑛 アラ △ 物部藥 慰勞 ナグサメ 純 アシ 鈎

ヒトク 調役 カノリモ 白鑛 ス △ 元明天皇

綾錦 アヤニ 饑 ウエ 賑給 ニギハシ △ 太宰帥多

治比ノ池守 飢疫 キンントハヤ 賑恤 ニギハシ

成 モ 差使 ツカヒ 經過 スギトホ △ 聖武天皇

豌豆瘡 モカサハ △ 僧行基 橋梁 カ 架

ル 堤防 ツツ △ 孝謙天皇 ○ 神野郡 △ 加

茂直馬主 ○ 周敷郡 △ 真國 △ 伊佐世

利ノ宿禰△稱徳天皇

自四葉至六葉

神戶五烟△カミモリノイ藏下麻呂△ヘイツカマド按察

使△諸國ヲシラ飛鳥麻呂△ベ見廻ル後凡直繼人△ホシノアヒヒト稻

積△加茂直人主△ツツカモノト味酒部ノ稻依△

平群ノ味酒臣△ヘヒラノミ光仁天皇△ヒラノミ靜養女

資養△シヤウ爵△シヤウノキ桓武天皇△シヤウノキ越智

直廣川△シロカハ紀博世△キノヒロヨ小治田ノ朝△コヂリノチ

忍人△在手誤△オシノヒト本源△オシノヒト冒△ホカス慨△ホカス

停△トム崑崙人△クワンロン賚△ラヒ草綿種△クサワタノタネ

須△ス栽培△ツカハ評城天皇△ヒラノキ藤原友雄△フチハラノトモ

黨△クミ諱△ナリ觸△シユ嵯峨天皇△サガガ

淳和天皇△ジュンワ藤原吉野△フチハラノヨシノ風速直益吉△カザハヤシ

哀慕△アイボ落飾△ラクシク節操奪△セツサウ難シ

位階△イカ浮穴直千繼△ウケアナノチナ真徳△マノトク

△藤原大津△フチハラノオホツツ豐稔△トヨニ富贍△トヨニ

愛媛各史一 四

カ田物部連道吉△鴨部首福主△

文徳天皇△光定△寂僧△贄土師

弱冠△隱栖△最澄僧△義

延僧名宗義△佛法宗派ノ奥義ヲ云フ△真死宿禰雜

物經義△儒道ノ主トウ論アラビト度者得度セシモノ僧名

織質直△外飾△寵遇△

清和天皇△伴善男△廣泉方書△方術ノ書類

典藥允累進△藥石△獨步

鬚眉△皎白△皮膚△悅澤△攝

養要訣△寫ノ名撰△少領一員△占居△土地

掠奪△隔絶△防禦△菅原

朝臣清公△苜田首倉繼△淨根△光

孝天皇△主政△醍醐天皇△朱

雀天皇△警固使△紀淑人△追捕

賊帥△田疇△班千△衣糧△

仁恕△長谷雄△夙△純友△



將門 俯南面・據 ○日振島宇和郡

瞰 △國香 ○猿島下總 皇胤天子ノオ

潜坊市 △藤原子高 蹤跡ユキ 詣アト

虜 △島田惟幹 侵畧ヲカシ

自七葉至九葉

△小野好古 △藤原慶幸 △大藏春實

隻 逆 渠帥 △藤原恒

利 鄉導 勇悍 焚 △藤原

忠文 統 潰 擒斬 凶

橘遠保 △重太丸 △嘉 一條天

皇 △藤原佐理 罷 風濤峻惡 纜

解 扁額 齊戒 恬 穩

△後冷泉天皇 降虜 △安

倍安任 △正任 △真任 △家任 △賴義

登 餓莩 私資 貢賦 濟

重任 △河野通清 豪族 容

貌ハカスガ魁クワイ梧コ武技ブギ△奴ヌ可カ入イ道ダウ

西寂サイジツ○高繩城タカナガ警ケイ偽ギ爲イ爲マ窺キ

適テキ宴エン院イン既キ別當ベツタウ△平通盛ヘイツウセイ△教キョウ

盛セイ△緒方惟能コノエ△源範賴ゲンノリ△義經ヨシツネ宿シュク

衛エイ兵馬ヘイバノ權ケン軍兵ヲ指揮統グンヘイヲシキウトウ際サカイ隙キ隙トヲ云フ國クニ

務ム○莊園シヤウエン課クワ課ケル遼遠リョウエン

憂異ウイ△泰衡タイヘイ旋セン旋マタ

襲シウ舊勳キウクン裁處サイシヨ門族モンゾク一門ノモ

隸レイ指揮シキ聽テイ

自十葉至十二葉

勤王キンウ天子テンシニツツ敗績ハイセキ績マケイ謫所タクショ坐ザ坐ツミ難ナン

髮ハツ△如佛ニョブツ食邑シヨク領地リョウチ落飾ラクシヨク元ゲン

主シュ玉冠ギョウクワン△忽必烈コツピリ元ノ國ノ入冠ゲンノクニノコウ

探題タンダイ鐵鑊テツカ弩ド擬ギ奮フン

輕舸ケイカ左肘サテウ檣シヤウ踵シュウ斬セキ奮フン

進シン鷹島トウジマ肥ヘ颶風クワフウ中大風チュウダイフウ碎裂サイレツヤブ

ル 鑿ア捷ミナゴロシ大 歸依エスルフ 米邑サイシヨウ 周游シウイウウ

アマネク 巨蟒キョウハフウハ 殪イスホ 驍勇キョウユウウ タクミシクク 間道カンドウウ ミチ

△通治ミチハルハ郎次 △通言ミチトキキ郎弥三 ○星岡ホシウカカ 偵知テイチチヒヒヒヒ

潰敗クヱハククレヤシフ 襲シフイフ 殺傷サツシヤウキ コロシキキ 遺黨イトウウトモニクク

シモノ、ノコリ ○立烏帽子城タテカサシニ在 殿テンシムガリアア ○鹽シホホ

津ツ○金崎カナサキ △土居通郷ツチイキトウキョウ 會クワイタマトウキ凍飢トウキコニ

操ソウルト △飽浦信胤アツウラシノブノトクトク 督トクダスス總ソウ 輒シヤクスク聲勢セイイキヒ

寔シツトニ植ウエル 推スシトゲ 沮喪ソイキヲヒ ○河江城カハノエエ

○世田城セタタ 耦刺クシシチ 曼多羅マンダラ 佛ブツノ名ナヲカ

麾キサシマ 據キヨヨリマ 邀ケウムカヘム 馳突チツツキキ 披靡ヒヒヒ

ヒラキナビク、ニゲチルヲ云フ 搏戰ハクウウチタ 獲クワルウ 重圍チウウイクハニモカコム

自十三葉至十五葉

糧リヤウカ 竭カツツクツキハ 逼フセマ 殉ジュンスルヲ云フ 恢復クワイフクトリ

奮闘フンフルヒクエ 惠良城ケイリヤウウカカ △通堯トウキョウウ △通任トウジニ○

屋代島ヤシロジマ ○佐志久原サシクガラ 復フクモトモククイキンン 怪禽クワイケンン アアシシ

鳴メイイイヤヤナナ声シニニ △藤原資隆フチチハラノノススケケカカ 逸イツトトググ親ニ 須臾シユユユシシババ 捉サツササツツ

ト盤旋ハシグルクグルク皂黒サウマツマツ咸カンミナミナコト臆オクムム絶倫ゼツリンリン

ヒトナミ鐵挺テツテツテツ徐步ジョソロソロク追躡ツキセツセツアトアトヲヲオオフフアアトト

抵テイイイクク游ユウググオオロロ跳テウリリヲヲトト敗將ハイシヤシヤオオチチムム○冲島オキシマシマ重錨チヨウベウベウ

オモキ巨櫓キヨオオホホキキナナ樹ジュツツタタ軒睡カンススキキイイビビキキ怖フオオツツ○

イカリ明メイ支那清代前シナ○來島クシマシマ○能島ノシマシマ○因島インシマシマ倭ワ

寇カウニッポニッポンン○波爾ハルル杜瓦爾トカカルル○種島クネネガガシシママ

鳥銃テウジジホホトリトリウウチチ齋セイモモタタ購得コウトトククカカイイ遍ヘンアアママ○毛利モリリリ元ゲントト

就ジュ○嚴島イツツシマシマ△正親町オホホキキママチチ天皇テンノノカカクク△元ゲントト

親△安並和泉△内政ナイシヤシヤツツ誘イイイガガナナヒヒ徐イアアヤヤムムクク

弒シヨヨスス○興居島キョウキョキョシマシマ傍觀バウククワワキキミミ

自十六葉至十八葉

續クルル△妻取メウウ取トリ隸リツツクク敗走ハイソソウウヤヤアアレレ侵畧インリリクク

ラカシト△土居清長△忠澄チウテイテイ讓ニョウルルセセムム横コウルルホホシシママ

ガマ四疆ヨモモノノ持チココトトニニ別ニ段ニ望バウノノソソ壺キヨウハハヤヤキキ一一宵イウ

ムダ陷没ヤブレレララ譴センツツククルル一一△實克△康親

索サクツツククルルツツキキハハ△西園寺△基家キケケ威望キバウバウキキククロウロウシシ

肯カウアエ旗頭ハタガシラ 高外樹タカトキ 新居郡ニ在リ ○伊加里川イカリガハ

旌旗セイキ 蔽ヘイ オホフ、モノヲオホカケル 轟トウ 死シ 臨 シニ

數輩スハ 四五人ト云 健闘ケントウ ○鷹森タカモリ 後事ゴウジ シ

託トク 軀ク 疾イ 乖クワイ ソムク、ソム 蹇ケン ヤハセナ

闔族カウソク 持ヒト 偷トウ 罵辱バロク 畢ヒツ ヲハ

釋セキ 自屠ジト 睥目ヒメ 叱シ 意イ

愛アイ 顧コ 揮キ 訣ケツ 之シ 得居トクキ

囑モク 謁エツ 遇ウ 役エキ ○松前△加

藤嘉明 ○湯月 ○國府城 封 尋

△足立重信 疏 澗

村上掃部△能島内匠△堀部主膳△

佃 詐 城 妻孥 慧照 募

敵營 餽遺 反間 縦

苛 征 施 位 羸弱 悅服

鬥志 弛 偵 擾亂

雜刀 提 督戰 寧

紙旗 カミササ 三創 ソウサンガシヨ

自十九葉至廿一葉

裏 ウラ 疑兵 ギヘイ 以 イ 援兵 エンヘイ 沮 ジュ

銳 スイ 悉 シツ 衝突 シュツク 北 ホク 質 シツ

納 ナク 監 カン △相良 サウラ 率 ソツ 宏壯 カウサウ ○塩成 シホナリ

輸送 ソウソウ 幻 マヤカシ 海峽 カイカフ 鑿 サク

董督 トウトク 工一 コウイチ 簣二 サイニ 虧 カウ

惜 シヨク 食 シヨク 放還 ハツエン 嫌疑 ケンギ

愍 ミン 祠 シ △山部公賴 ヤマベノキヨリ 傳 デン

姦黨 カンダウ 讒 サン 構 カウ 忠烈 チュウリツ

憫 ミン 祠 シ △定恭 テイキウ △蒲生忠知 ハヤシロノチカ 嗣 シ

異父弟 イフテイ 官 クワン 棄 シ 侍養 シヤウヤウ

除 ジユ 洽 カフ 諱 ヒナミ △惟命 ヒナミ

物議 モノギ 憚 ハバ 宵 セウ 誦讀 ソウドク

潛心 センシン 力學 リキョク 年所 ネンショ 歸省 キシヨウ

肯 ケン 情 ジョウ 陳 チン 骸骨 ガイコツ 乞 キツ

ウチヲアカシ 對ムカ 素モト 行カウ 卒シツ △ 藤樹トウジュ

テヤクヲヒク 遺言イヒノ 削クツリ 天主閣テンシユ ○ 葡萄牙ホルトガル 歐羅巴

中ノ 葡萄船ホルトガ 警報ヘニノ 奮起フルヒ 準備シヨウビ

シタ 神速ハヤキ 尚トク 先發サキ 鄭重テイウ 時トキ

機キ 單騎ヒトリウ

自廿二葉至廿五葉

促ソク 子カスガ 果斷キリモリノ 墾闢トチラ 原額ゲンガク

モトノ 復モト ○ 葛飾カヅシカ ○ 芳賀カガ ○ 真壁マカベ

若干ソコ 禁錮オシコメラ △ 小栗コクリ 陽ヤウ

キ 推戴オシイ 聽斷トリサバキ 陰カニ 專權センケン 私シ

曲マ 獄決ツミ 湧出ワケイ 遺命ユイメイ

銅壙アカツ子 管カマヒシハ 換カ 散在ソコ 宴エン

饗モテ 掌ツカサ 私怨オノレ 坐ツミセラル 讎アタ

○ 赤穂△長矩△義英△良雄△長庸

△正辰△包秀 遇△山井重鼎

宋版七經孟子 考文△君彞△賴渡

○清國支那諸儒オホクノ嚆矢サキガケ △

徂徠物茂甘薯サツマ種ルウカ諭ホネオリ生活セイゴ

○總社川 ○龍岡 ○三方嶽

堤防ミツ田廬ノ經過トホル○馬越ウマゴ霖

雨ウ動ドウ暴漲バウ△肇テウ操サウトル

聘テイ昌平校東京湯島ニアリ旧幕府ノ△古賀精

里△柴栗山 苞タハ退安老ラウ夕ヤ養ヤハシ

△三助尾藤良佐古賀弥助

輔 素餐祿 正學指南 稱謂私言書皆

物ギウ牛痘ウレノハ種痘ウエバ△將軍家茂

纜ガウ挑ト伏フセ奉還カヘ允ユル世祿グアイク

貫附ツク支廳エダヤ○石鉄縣△茂任

大風洪水オホカゼ禾稼イネ差サ△通軌



愛媛略史字引終

明治十三年 二月十四日 版權免許  
同 十三年四月出版 定價金七錢五厘

著述者

愛媛縣平民

矢野

績

伊豫國越智郡今治寄町九十四番屋敷

原書版主

東京府士族

尾關幸太郎

東京府田原郡元柳原町七番地

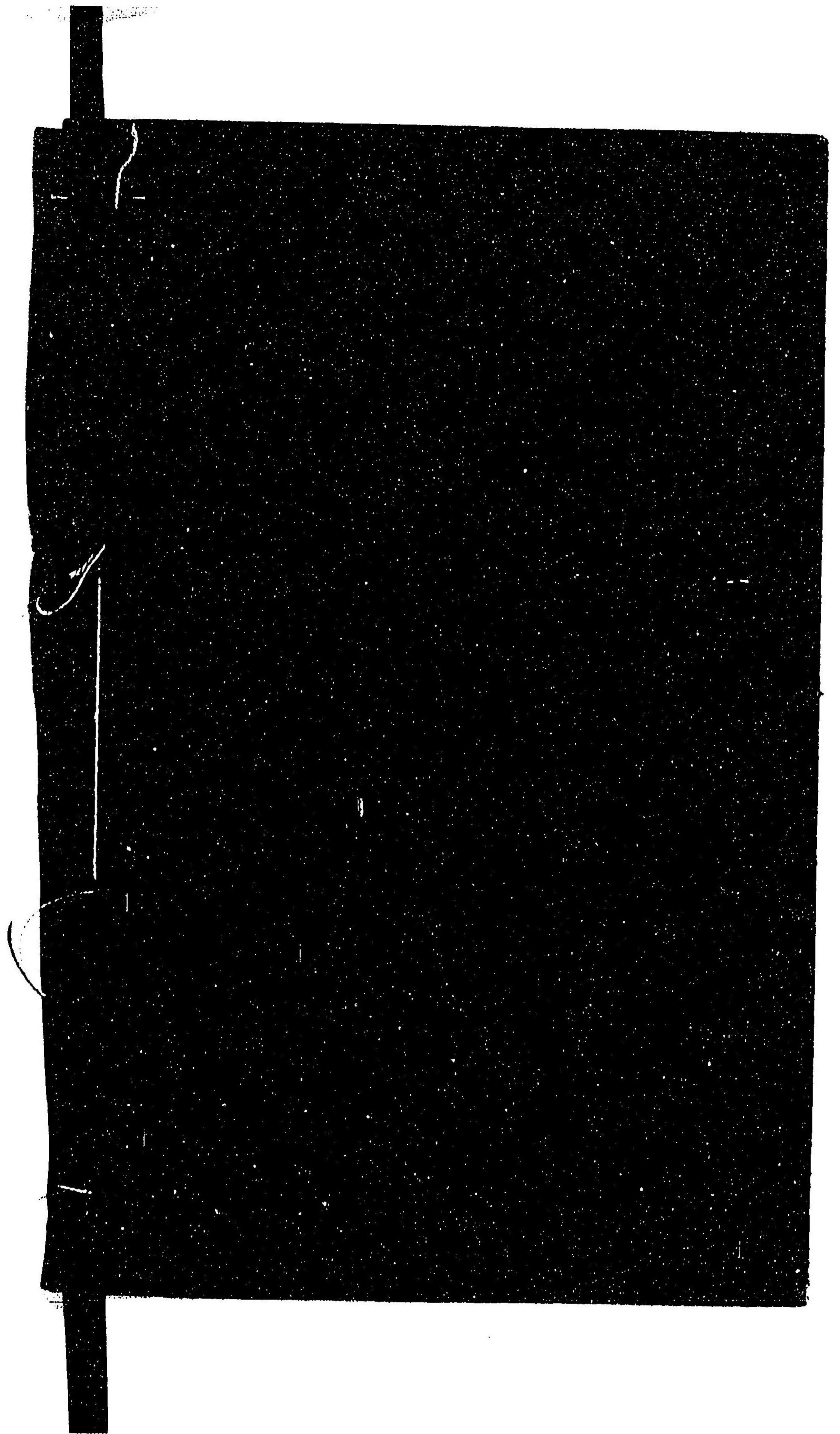
出版人

東京府士族

藤野野矢

大木政光

東京府士族  
共利社



特32

769

026050-000-4

特32-769

愛媛略史字引

矢野 績 / 著

M13

ADC-3698

